

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」(平成20年度採択)

事後評価結果

番号	研究名	研究代表者	評価
20-2	ITを活用した合理的な事業マネジメントシステムに関する研究開発	東京大学大学院 特任教授 石川 雄章	A
<p>&lt; 研究の概要 &gt; 成果報告レポートより引用</p> <p>道路管理業務を対象として、業務体系・情報体系の分析を行い、現場業務の改善策を導出する「ITを活用した合理的な事業マネジメントシステム」の方法論を開発し、その方法論を問合せ対応業務に適用し実装可能なレベルのドキュメント、システムを開発した。</p> <p>&lt; 事後評価結果 &gt;</p> <p>中間評価に適切に対応した結果、業務体系・情報体系が可視化されるなど、現場に適用可能かつ十分な業務改善効果が得られるシステム開発の方法論が成果として得られており、研究目的は達成され、十分な研究成果があったと評価する。</p> <p>&lt; 参考意見 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 技術開発という側面が強いこともあり、学会等での発表が十分になされていないが、国道事務所や自治体に対して継続的に情報発信を行うなど、発表方法を工夫し、より広く広報していただきたい。</li> <li>2. システムの導入による業務全体に対する影響について、現場で意見が集約されればさらに実用性が高くなると思われる。</li> <li>3. システムの費用対効果について言及している点は大きく評価できるが、その内容については明確でない点が多い。この点を明確にすることによってこのシステムの有用性がさらに明らかになることが期待される。</li> <li>4. 本研究成果を実務へ反映する上で、導入効果の詳細な記載、実現アウトプットや適用範囲等の具体的な記載が望まれる。</li> </ol>			